

ふるさと信州寄付金

【平成 20 年度活用事業について】

【写真提供：信州・長野県観光協会】

昨年度は、「ふるさと信州」を想う全国の皆さまから、多大なるご寄付を長野県へお寄せいただき誠にありがとうございました。

おかげさまで、長野県へは 137 件、528 万円余の寄付金をいただき、県下の 45 市町村へも 87 件、359 万円余の寄付申出書を引き継ぐことができました。

長野県へのご寄付は、早速、平成 20 年度の様々な事業に活用をさせていただきますので、ご報告させていただきます。

長野県では、今後とも「ふるさと信州寄付金」を積極的に PR しながら、長野県の美しい自然と景観を守る取り組みを続けてまいりますので、多くの皆さまの応援をよろしくお願いいたします。

平成 21 年 5 月

長野県知事 村 井 仁



平成20年度「ふるさと信州寄付金」の受付結果及び活用事業について

件数及び金額

- ・ 長野県への寄付 137件 5,283,000円
 - ・ 市町村への寄付申出 87件 3,596,000円
- (長野県が受け付けた分：45市町村へ引継ぎ)

長野県への寄付金の使途希望別内訳

みんなで支える ふるさとの森林づくり	1,595,000円
美しく豊かな自然環境と魅力的な景観づくり	2,188,000円
魅力ある観光地づくり	1,132,000円
その他	368,000円
合計	5,283,000円

「希望なし」として受け付けた寄付金は、～の事業に振り分けました。
 「その他」の活用希望：少子化対策、リニア推進、障害者福祉、雇用の活性化、農業研究、食糧自給率関連、公共・防災関連、公教育

活用事業の内容について

以下のとおり報告いたします。(各事業の財源の一部として活用しました)

みんなで支える ふるさとの森林づくり

【寄付金の活用額 1,595千円】

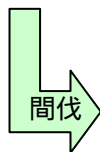
森林づくり事業

「緑の社会資本」である森林を健全な姿で次の世代に引き継いでいくため、「長野県森林づくり県民税」とあわせ寄付金を活用しながら、間伐を中心に森林づくりを実施しました。

間伐前の森林



間伐により陽当たりが良くなり、
活き活きと生まれ変わった森林



光合成により幹が太くなり根も
十分に張ることができます。

【間伐の作業風景】



【間伐を中心とした森林づくりを進めるための取り組み】
 (地域が主体となり里山の集約化を進めています。) (里山整備モデル団地の現地見学)



(集落説明会の様子)



【ソフト事業にも積極的に取り組んでいます。】
 (森林(もり)の里親促進事業) (木育推進事業)



(保育園で竹ハシを製材)

信州の登山道リフレッシュ事業

山岳環境の保全や登山者の安全を確保するため、管理者が不明確な登山道の日常的維持・補修を、登山者、民間企業からの協力金を活用して、山小屋等関係者と県が連携して実施しました。

【梯子設置（餓鬼岳）】



【工事の様子を紹介します。】（H19 槍ヶ岳、南岳の工事から）
資材はヘリコプターで運搬



工事の様子

梯子と鎖の設置完了！

【歩道設置（水晶小屋より鷲羽岳方面）】



-1 景観育成支援事業

県下各地において、景観に関する活動に中心的な役割を果たす人材を「地域景観リーダー」として登録し、研修会の開催により地域の景観に関する取り組みを支援しました。

【小布施でのリーダー研修会の様子】

（講演の様子）



（小布施町内「まち歩き」）



【「長野県景観フォーラムINA」の様子】

（講演「良い景観とは」）



（取組事例などを紹介）



-2 地域景観育成事業

県下各地における景観に関する様々な活動の支援を通じて、景観の保全・育成に向けた取り組みの活性化などに繋がっています。また、良好な景観の阻害要因の解消などに必要な経費に対して助成を行いました。

【県下 10 地域の地域景観協議会などが中心となって地域の景観情報誌を作成しました。】



【廃屋状態の建造物の除却を行った地元の区を支援】



【老朽化したり役割を終えた屋外広告物を撤去】



魅力ある観光地づくり

【寄付金の活用額 1,132 千円】

温泉地・スキー場地区再生モデル事業

長野県が全国に誇る温泉地やスキー場地区の観光地の魅力向上を図るため、地域の観光事業者、関係団体及び地域住民等と連携・協働して観光地の再生に意欲的に取り組む市町村を支援しました。

【温泉地の空き店舗を地場産品の販売拠点、休憩所として活用するための改修】



【ゲレンデスキー以外の楽しみを体験できるモニターツアーの実施】

(里山トレッキング)

(キッズモービル)



【泉質の良さを実感していただくための足湯の設置】



【おもてなしマスター養成研修の開催】



【スキー場の魅力アップのためのクロスコースの設置】



その他の活用事業

【寄付金の活用額 368 千円】

長野県が用意する上記3つの取組以外にも、「その他」の活用希望として、「公教育振興」や「障害者福祉」、「雇用の活性化」、「少子化対策」、「農業研究」等のお申し出もありました。主な活用事業は以下のとおりです。

「公教育振興」

【特別支援学校の備品購入】
(エアトランポリン)



児童・生徒の平衡感覚を養うため、自立活動の授業でトランポリンを使用

「障害者福祉」

【知的障害児施設
(信濃学園)の食器更新】



信濃学園の利用者が楽しく安全な食事をするために食器を更新

「雇用の活性化」

【ジョブカフェ信州の
運営事業】



コンサルティングから職業紹介まで若者の就業をサポート

「少子化対策」

【少子化対策の講演会を
開催】



安心して子どもを生み育てられる環境づくりを目指して、県民会議を設立し、少子化対策の講演会を開催

【お問い合わせ先】 「ふるさと信州寄付金」事務局
長野県庁総務部税務課総務係
〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下 692-2
TEL 026-235-7046 (直通)
FAX 026-235-7497
e-mail zeimu@pref.nagano.jp